

交換留学報告書

* この報告書に記載される内容は多文化社会学部のウェブサイト等に記載いたしますので、予めご了承ください。

氏名	三島帆夏	学年(渡航時)	3
派遣先大学	オックスフォード・ブルックス大学		
国・地域	イギリス		
派遣期間	2025	年 9 月 ~	2025 年 12 月

履修科目

1 学期目	
履修科目	授業内容
Understanding Media	現代メディア技術の特定の側面を探索し、人々がどのようにそれらを利用しどのような社会変化をもたらしたかについて学ぶ。
Digital Media and Youth Identities	文化的、政治的、商業的背景におけるオンラインアイデンティティの構築に焦点を当て、若者のメディア実践と消費について学ぶ。
Family, Kinship and Society	家族、親族に焦点を当て、社会において人々がどのように社会関係を概念化し、組織化し、交渉していくのかを学ぶ。
Becoming human	人類学のあらゆる側面を基盤とし、人類学者が人間の多様性の研究にどのようにアプローチするかを学ぶ。
Essential Academic Language and Communication	エッセイの書き方や引用方法について学ぶ。

留学レポート(1,500 字以上)

<学校について>

全体的に設備がいいです。カフェがたくさんあったり、電源設備が充実していたり、勉強するためのスペースが図書館以外にもあったりと、勉学に集中しやすい環境でした。コープも夜 10 時まで空いているので駆け込んで夜ご飯を買うこともできました。また、学校内にアマゾンロッカーがあり便利です。

生活面では留学生支援チームの手厚いサポートがあったため非常に助かりました。最初の一週間は学校内を紹介してくれるツアーやオックスフォード周辺を紹介してくれるツアーなどに参加し、現地の生活に徐々に慣れていきました。留学生向けのオリエンテーションも多かったです。その他にもたくさんのイベントが開催されており、ハロウィンのイベントやスケートなどを通して他の留学生たちと交流を深めました。

私が受講したクラスはすべて 3 時間の講義だったので、集中するのが大変でした。現地の先生や生徒たちの英語を集中して何時間も聞くのはとても疲れます。予習として提示された文献の量が非常に多く、苦戦しましたが徐々に慣れていきました。また、受講した講義すべてにセミナーが含まれていました。留学生が私しかいないクラスもいくつか受講したので最初は他の学生たちとディスカッションすることに非常に緊張し、発言するのを躊躇ってしまっていました。ですが先生も周りの学生も優しく私の話を聞いてくれたおかげで発言に自信を持つことができました。時々自分の英語が伝わらずもどかしさを感じることもありましたが、その分ちゃんとディスカッションできたり会話を楽しめた時に達成感を感じました。講義が同じだった現地の子どもたちと仲良くなり、一緒に映画を見に行ったりその他イベントに参加したりしました。

とにかく最終課題が大変でした。私は計 5 つの講義を受講しており、それぞれ 1200~1500 ワードのエッセイを提出しました。英語の論文をいくつも読み、エッセイを書くという経験が浅い私にはかなりきついものでしたが、先生との一対一面談や、図書館のサービスなどを活用しながらなんとか書き上げました。図書館は 24 時間空いているので気が済むまで利用できます。日本語でエッセイを書く何倍もの時間が必要になるので、計画的に進めていくことが大切だなと実感しました。

<町の様子について>

オックスフォードの町並みはとても素敵です。ハリーポッターが好きな方はオックスフォード大学のツアーに参加することをお勧めします。実際に映画の撮影で使われた場所に入ることが出来ます。City center と呼ばれる町の中心地まで行くと、すべてが揃っています。私は金曜日がお休みだったのでよく買い物に行っていました。

以下、よく利用していた店です↓

Primark : 洋服が安価で買えます。GU とほとんど同じくらいの価格帯で、日用雑貨などもありました。

Poundland: イギリス版百均です。雑貨から食品まで1ポンドで買えます。

Iceland: 冷凍食品系が安いです。

Lidl, Sainsbury's など: 食品スーパーです。比較的安価です。

Boots, Savers など: 薬局です。

Seoul Plaza: アジアンスーパーです。ここで日本米を買っていました。

大学から 20~30 分ほど行くと大抵のものはそろいました。

また、大学近くに大きな公園があったので気分転換によく散歩をしていました。イギリスでは散歩に適した素敵な公園や道がたくさんあります。冬は暗くなるのが早いのでお昼ごろに友達と散歩やテニスをして、体を動かすようにしていました。

<旅行について>

オックスフォードからロンドンへはバス一本で行けるので、留学中も何度かロンドンに訪れました。特に Oxford tube というバスが 24 時間運行しており、お勧めです。(片道 3000 円程です。) また、他の都市にもアクセスが良いので友達と旅行に行きました。

留学支援課チームが主催する日帰り旅行にも参加しました。貸し切りバスでコッツウォルズやケンブリッジ、ロンドンのクリスマスマーケットなどに行けます。

タッチ決済が非常に流通しているのであらかじめ自分のスマホにクレジットカード類を登録しておくことで安心です。

※クレジットカードの二段階認証を自身の携帯番号(SMS など)に設定している方は事前にメールアドレスに変更することをお勧めします。現地に着いて電話番号が変わったらカード支払い時に SMS が届かず、支払いができないケースがあります。

どこに行っても街並みが本当に素敵なので写真を撮る回数が増えました。

<寮について>

ブルックス大学にはたくさんの提携寮があります。1 セメスターの留学だったため選択できる寮は限られていましたが、学校からも近く治安も問題ありませんでした。寮の希望を出す際に男女混合の部屋がいいか、別々の部屋がいいか選ぶことが出来ました。

部屋はシャワー・トイレがそれぞれ共同でしたが 2 つずつあったので特に不便には感じませんでした。リビングも広く、フラットメイトたちとご飯を食べたりパーティーを開いたりするのに十分な広さでした。

洗濯機が部屋の中に無かったので寮内にあるランドリーを使っていました。(洗濯と乾燥で 600 円程でした。)専用のアプリで洗濯機の空き状況を確認することが出来ます。

私のフラットは全体的に静かで過ごしやすと感じましたが、騒音などの問題が起きている所もありました。何かトラブルが起きたら我慢せずに寮の担当者に連絡し、話し合うことが大切です。

私自身かなり心配性なので、留学先でやっていけるかととても不安でした。渡英前一月は最早行きたくないと思ってしまうほどでしたが、いざ来てみると大学の人や留学先で出来た友達にたくさん支えられ、楽しい留学生活を送ることが出来ました。留学前の準備では、自分に必要な情報は何かを考え調べ、解決する力が付きました。それと同時に困ったら誰かに頼る力もつきました。ただ黙っているだけでは誰も助けてくれませんが、声をかけると皆快く手を差し伸べてくれます。特に海外生活は慣れていないことの連続なので分からないことがあったら積極的に頼るようにしていました。留学に行こうか迷っている方がいらっしゃったら、ぜひ行ってほしいと思います。大変なことも悲しいこともありますが、それを超えるほど貴重な経験、楽しい思い出が沢山でき、友達の輪も広がったので留学して良かったと心から感じました。

留学中の写真(5枚程度) ※写真のキャプションも入れること



オックスフォード大学のツアー
ハリーポッターの撮影場所です



11月に行われた花火大会



美術館にたくさん行きました



クリームティー



オックスフォードの町並み